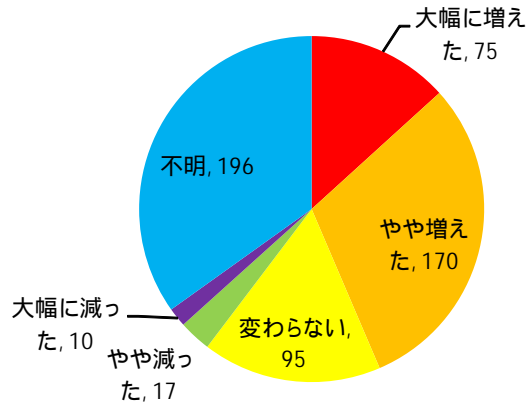


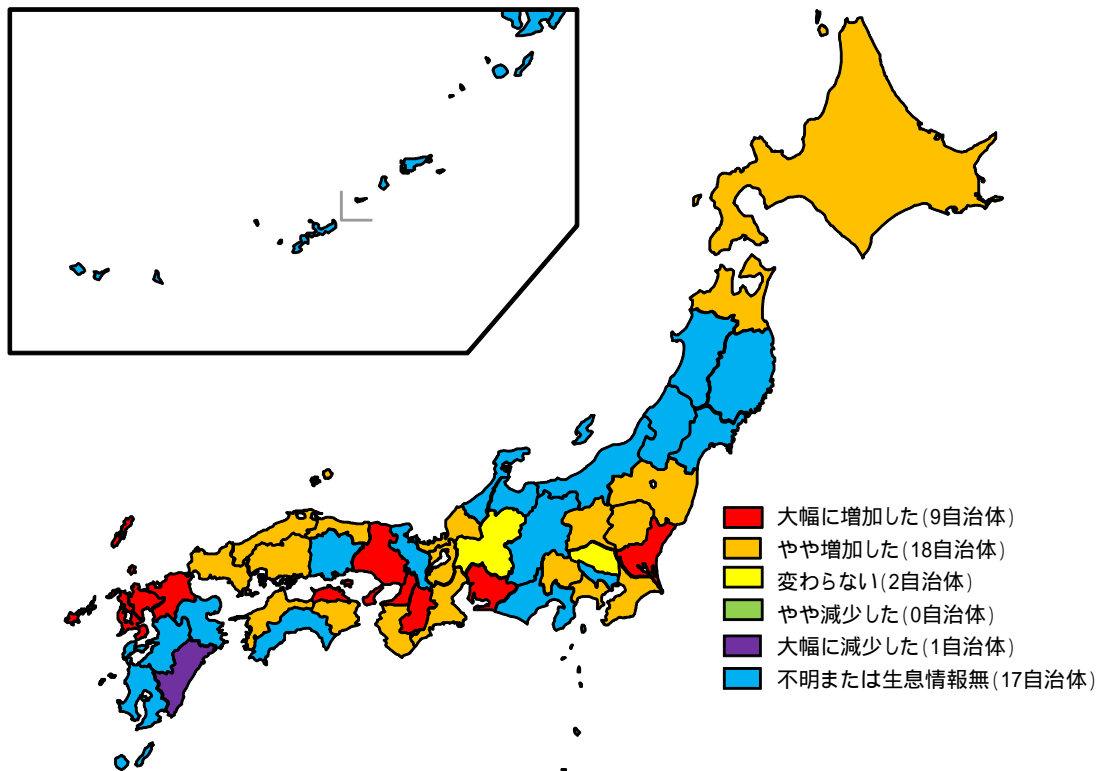
## 外来種の分布拡大傾向

アライグマの生息数の動向（H21年度からの増減に関する傾向）



平成22年度末現在の生息数は平成21年度以前に比べて増えていると感じますか？  
（数字は回答件数）

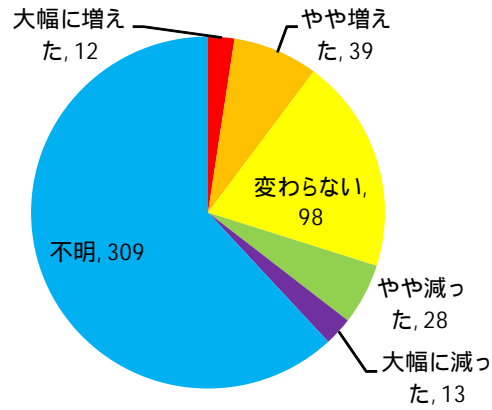
上記グラフについては、都道府県、市町村、民間団体等の回答件数の合計値である



都道府県における生息数増減に関する傾向  
各都道府県担当からの回答を反映

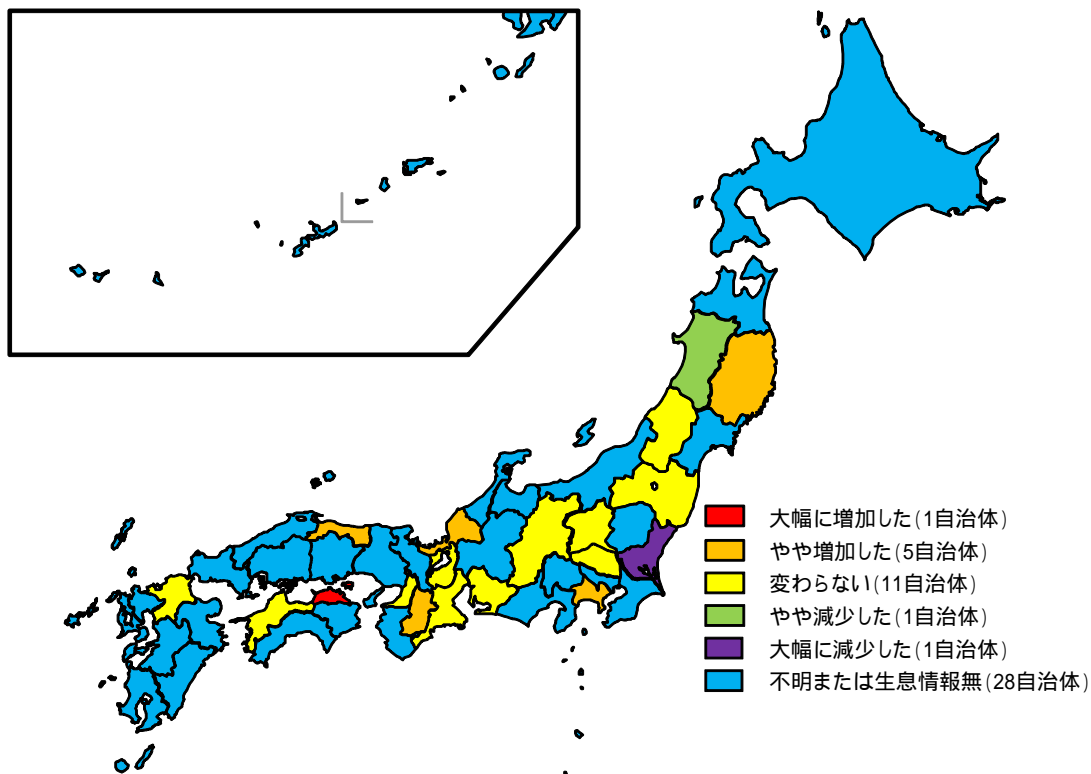
- ・ 生息数について大幅に増加した、やや増加したとする回答が約4割を占めており、変わらないとする回答を含めると過半数を超えていた。一方減少したとする回答は1割程度にとどまり、全体として増加傾向にあった。
- ・ 都道府県別では、北海道や青森、関東から南東北、近畿、中四国、北九州地域で増加傾向にあることが示唆された。

ブラックバスの息数の動向（H21年度からの増減に関する傾向）



平成22年度末現在の生息数は平成21年度以前に比べて増えていると感じますか？  
（数字は回答件数）

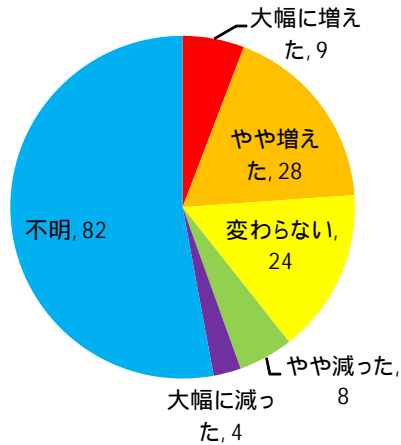
上記グラフについては、都道府県、市町村、民間団体等の回答件数の合計値である



都道府県における生息数増減に関する傾向  
各都道府県担当からの回答を反映

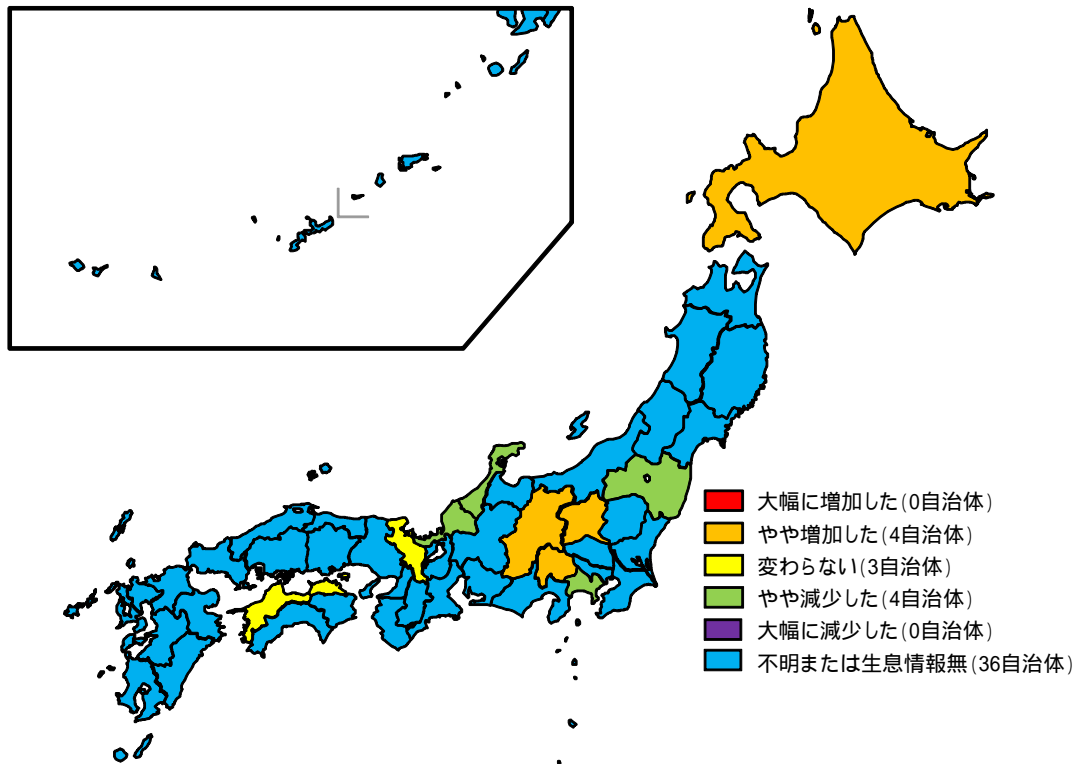
- ・ 生息数について不明とする回答が約 6 割を占めていた。次いで変わらないとする回答が 2 割であった。  
陸上に比べて調査結果の検証が難しいことが原因だと考えられる。
- ・ 都道府県別では、南東北から中部、近畿で変わらずに生息していることが示唆された。

オオハンゴンソウの生育数の動向（H21年度からの増減に関する傾向）



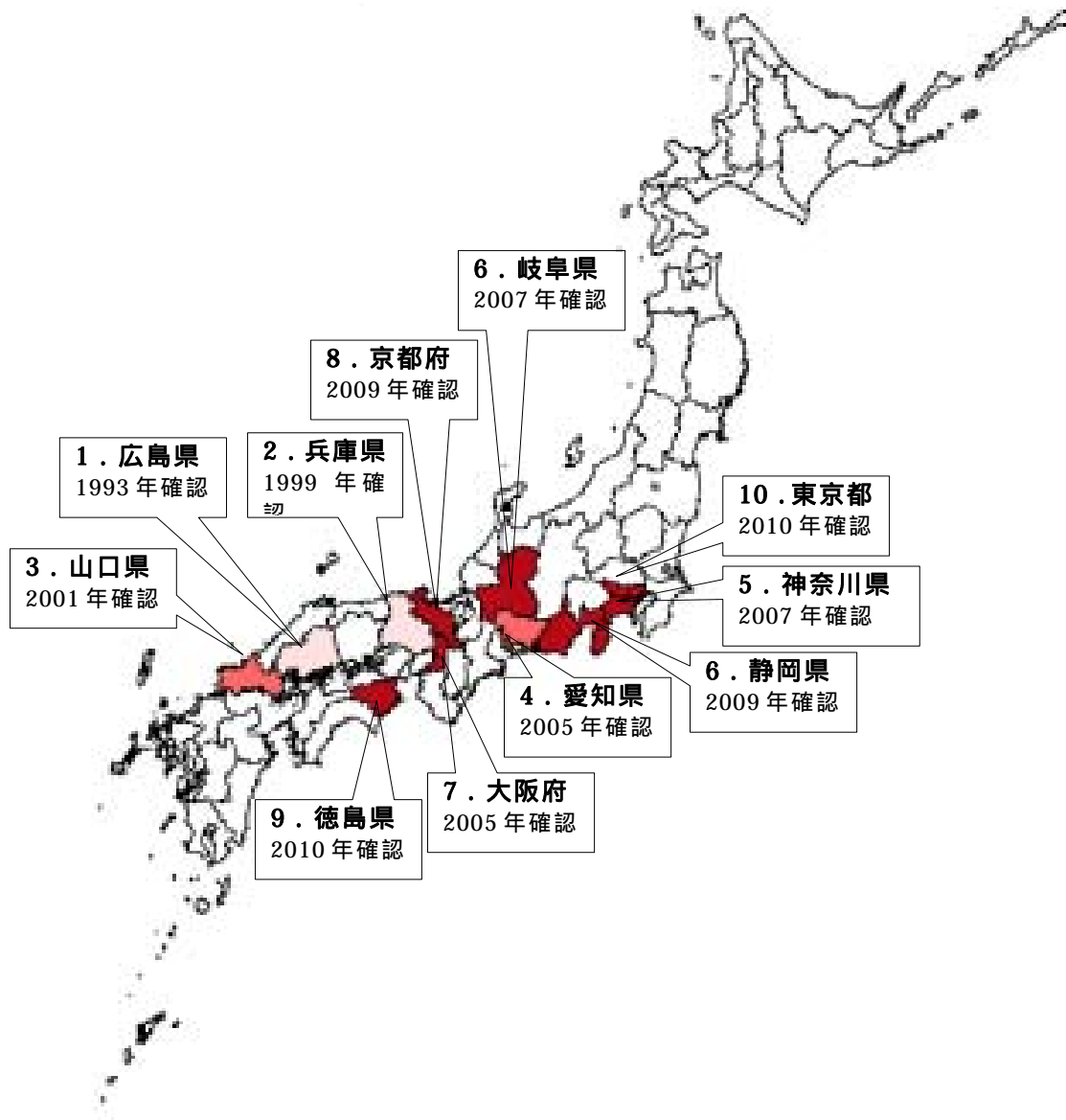
平成22年度末現在の生育数は平成21年度以前に比べて増えていると感じますか？  
（数字は回答件数）

上記グラフについては、都道府県、市町村、民間団体等の回答件数の合計値である



都道府県における生息数増減に関する傾向  
各都道府県担当からの回答を反映

- ・ 生息数について不明とする回答が約5割を占めていた。増加したとする回答が2割強を占めた。
- ・ 都道府県別では、北海道と北関東、甲信地域で増加傾向にあることが示唆された。



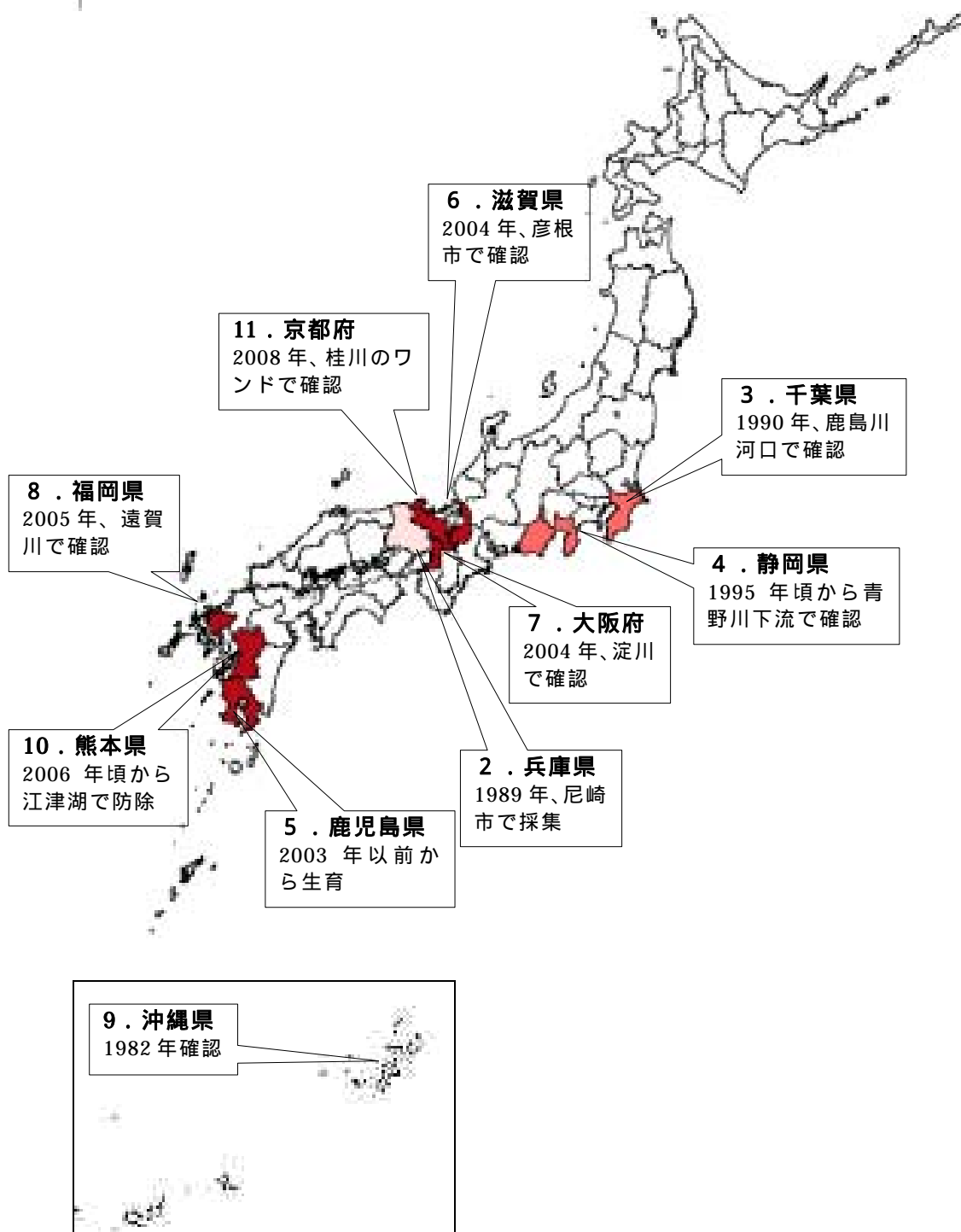
アルゼンチンアリの都道府県別の確認状況

数字は確認された年代の早い順

2000年以前

2001～2005年

2005年以降



ナガエツルノゲイトウの都道府県別の確認状況

数字は確認された年代の早い順

1989年以前

1990～1999年

2000年以降



一級河川におけるオオカワチシャの分布



一級河川におけるオオキンケイギクの分布

出典：外来種影響・対策研究会・国土交通省河川局河川課(2008)河川における外来種対策の考え方とその事例【改訂版】. リバーフロント整備センター